



K-I-F-A Plaza

第27号

1996年7月15日発行
（発行）
鎌ヶ谷市国際交流協会
編集・広報部

- ※ Annual General Meeting (pg 2) ※ Japanese Essays by foreigners (pg 3)
- ※ Report of the delegation visiting New Zealand (pg 4-5)
- ※ My Hometown: Malaysia (pg 6) ※ Reader's Column (pg 7)
- ※ Miscellaneous information (pg 8)



見事な日本語で "きらり鎌ヶ谷"
を歌うワカタネの子供達

お琴とお茶で親善交流

1995年度 K I F A 派遣団

N. Z. 姉妹都市大会参加

1996. 3月19日～26日



Kamagaya Citizens take part in New Zealand Sister City Event.

Kamagaya represented Japan at the Sister's Cities Convention in Whakatane, New Zealand, from March 21st to 24th, 1996. 19 Japanese, including a delegation of 11 members of KIFA took part at this special event. A Tea ceremony and Japanese harp presentation showed by the delegation were enjoyed by the participants.

1995年度のK I F A派遣は、前年度派遣での交流をより深めることを目的として、N. Z. ワカタネ市への成人派遣を実施致しました。ワカタネ市は95年N Z姉妹都市大会の開催市となっており同市と姉妹都市仮調印をしている鎌ヶ谷市へ参加の要請がありました。K I F Aには行政とは別に市民レベルの交流ということで"お茶席"の協力要請がありましたので会員に募集をかけ、派遣者11名を決定しました。幸いにも派遣者のなかにお琴の弾ける方がおり、お琴とお茶の日本文化の一端を披露することができました。また、ワカタネ市にてK I F A交流

部会員の佐藤キクさんが参加、派遣者11名と共に協力いただきました。

連夜のパーティでは市行政3名、鎌ヶ谷青年会議所4名、K I F A 12名、計19名が日本の代表として活躍、特にK I F Aの踊り、お琴の披露はN. Z. の皆様との親善交流の一翼になった事と思います。

今回、姉妹都市大会参加という特殊な目的でハードスケジュールをこなしていただいた派遣者の皆様方には大変感謝致します。

(派遣部会長 佐久間真由美)

1996年度鎌ヶ谷市国際交流協会総会開催

KIFA'S ANNUAL GENERAL MEETING was held in the Kamagaya Health & Welfare building on May 12th, 1996. After the formal speech by the President, different speeches were heard and the four sections within KIFA reported on past and future events. At the end, questions from the audience were answered respectively by the concerned persons. After two hours of deliberation, the annual general meeting contributed to relaxed and friendly chattering afterwards.

5月12日(日)午後1時より市総合福祉保健センター、6階大会議室において、本年度の総会が開催されました。

昨年度の各部会の事業報告並びに収支決算と本年度の事業計画案、予算案が審議され、いずれも承認されましたが、10周年に向けての活動の仕方や会員の減少をどうくい止めていくか等の活発な質疑応答があり、国際交流協会の発展の為に、前向きな意見が多数寄せられました。

今年度の主な事業計画は下記の通りです。

1. 会報の発行

年3回発行(A4 8ページ 4,000部)

2. 海外派遣事業の実施…ニュージーランド 12名

3. 在住外国人との交換

花見パーティー・料理講習会・夏まつり

スポーツフェスティバル・KIFAパーティー

4. ホームステイ・ホームビジットの受け入れ(随時)

歓迎パーティー

1996年度鎌ヶ谷市国際交流協会役員名簿

役職	氏名	担当	所属団体
名誉会長	皆川圭一郎		鎌ヶ谷市長
顧問	月野隆明		鎌ヶ谷市議会議長
顧問	秋山秀一		
顧問	佐々木武二郎		
監事	西峰光男		法人代表(株)東洋ハウジング
監事	皆川岩雄		市民代表
会長	荒井茂行		市民代表
副会長	岡本靖子	企画総務委員長	市民代表
"	竹内明		鎌ヶ谷ライオンズクラブ
理事	田沢進二郎	会計 運営委員	市民代表
"	岡野喜久江	広報部会長 運営委員	市民代表
"	佐久間真由美	派遣部会長 運営委員	市民代表
"	藤本克代	研修部会長 運営委員	市民代表
"	石関澄子	交流部会長 運営委員	市民代表
"	清松櫓男		市民代表
"	岡田猛	運営委員	鎌ヶ谷市体育協会
"	豊田朋二		鎌ヶ谷市商工会
"	小倉富美子	運営委員	鎌ヶ谷市スカウト連絡協議会
"	細井和美		鎌ヶ谷市子ども会育成連絡協議会
"	上野百合子		鎌ヶ谷市芸術文化協議会
"	鈴木秀承		鎌ヶ谷市自治会連合協議会
"	濱田光一		鎌ヶ谷市農業者団体連絡協議会
"	中島正二	運営委員	鎌ヶ谷青年会議所
"	田口義浩	運営委員	鎌ヶ谷ロータリークラブ
"	井上和夫		鎌ヶ谷市教育委員会委員長
"	小松博		千葉県立鎌ヶ谷高等学校長
"	村松誠		千葉県立鎌ヶ谷西高等学校長
"	高野博之		鎌ヶ谷市小中学校長会
"	藤澤昌三		鎌ヶ谷市助役
"	酒井三郎		鎌ヶ谷市教育委員会教育長
"	菅原正己	会計 運営委員	鎌ヶ谷市長公室長



5. 講演会・イベントの開催

6. 語学研修講座の開催…開講式(映画会)

英語会話講座 3講座、中国語会話講座 1講座、
スペイン語講座 1講座

閉講式 講座間交流(2回)

7. 日本語ボランティア活動

日本語講座 1講座、日本語ボランティア研修会
(6回)、日本語ボランティア交流会

8. 通訳ボランティア活動促進

研修会の開催(4回)

要望により通訳・翻訳をする

9. その他

国際交流事業の推進

1996年度鎌ヶ谷市国際交流協会役員名簿(敬称略)

また、今年度の会長職以下、新役員については、理事会において、承認されたのち、各自紹介されました。(別表を参照のこと)

その後、立食パーティー形式で、4部会の交流会が行われました。各部会ごとに自己紹介、和やかな雰囲気の中で、クイズをしたり、おしゃべりしながら楽しいひとときを過ごしました。



第4回 市民国際理解講座

「地球の反対側、ラテンの国々から見た日本」と題し
2月4日(日)中央公民館で開催されました。

3人のパネラーによる4カ国の報告を、女子高校生から様々な年齢の聴衆10数名が大変興味深く聞くことができ時間が足りないほどでした。

パネラーと講座の簡単な内容をご紹介します。



★川守田 一省氏 ブラジル在住5年(教育者)

言語はポルトガル語。面積は日本の22.5倍あり多種多様な気候で、胡椒、コーヒー等の農業、工業も盛ん。インフレ率は1カ月40%と言われる。人種差別は全くなく日本の子孫は140万人もいて大学進学率も高い。人口の20%がサンパウロに集中。人々は個人主義だが愛国心が強く、離婚率が高い。宗教は90%がローマカトリック。日本人はカトリック、仏教、天理教など。

★渡邊 伸氏 メキシコ在住2年(会社員)

言語はスペイン語。面積は日本の5倍。メキシコシティは、高地でカルデラの中に在り、空気が薄く大気汚染が深刻。又人口の増加率が高く、現在は1億人に近いのでは? 貧富の差が激しく、文盲率も高い。地理的にアメリカの影響大。大統領による一党独裁で経済的には発展しつつも問題をかかえている。マヤ、アステカ遺跡や多くの観光地に力を入れている。カトリック信者が多い。

★アコスタ ゆかり氏 キューバ在住4年(通訳)

言語はスペイン語。面積は本州より小さな島で、人口1,200万。亜熱帯気候で冬でも半袖で良い。'59年の革命後は文盲率ゼロ。2年前には宗教活動が解禁されローマカトリックが復活。アメリカを意識して人々の自尊心、愛国心は強い。離婚率は高く容易。貧富の差がなく全員貧しく食物の配給制の為近所付き合い盛ん。停電は度々あり電話もない生活。

★渡邊 伸氏 アルゼンチン在住4年(会社員)

言語はスペイン語。面積は日本の8倍あり、ブエノスアイレスは日本と真冬が正反対だが、気候温暖である。人口は2,500万~3,000万で3割はブエノスアイレスに集中。ヨーロッパ人が大半を占め文化水準は南米最高。文盲率も低い。親目的で33,000人が住んでいる。フォークランド紛争で英国に破れ、軍政から民政へ。インフレ率1%だが実質経済成長率は厳しい。

研修部会主催の「日本語講座」で学んでいる外国人を今回はお二人ご紹介致します。

Japanese Essays
by
Foreigners



日本語の学級は生徒たちは色々な国語ができません。それ時々みんなて色々な国が年長に聞いてもまだ免か

KIFA日本語学級にたいする私の思いは、みなさんと同じです。日本語の学級は生徒が少ないので、みんなよく練習できます。

生徒たちは色々な国から来ているので日本語を使わないと話ができません。それで、みんないっしょうけんめい日本語を話そうとします。

ときどきみんなて色々な話をすることが、とても勉強になります。そして、自分の国いがいの文化を知ることができます。そういう時先生は気長に聞いてくれます。

日本語をまだ勉強していない人に、私はさそいたいです。この面白い学級で、いっしょに勉強しませんか? 先生には、いつもお世話になっております。どうもありがとうございます。

亀甲 ロサリオ ペルー出身

にほんごのクラスにきて あっというまに1ねんたちました。それは たぶん にほんごをべんきょうするのは、たいへんおもしろいからかもしれないです。

にほんごの にちじょうかいわに なれました。さいしょは にほんごを ぜんぜんよめなかつたんですが(かきかたも) この1ねんかんで かなをよめるように(かけるように) になりました。にほんごだけじゃなくて にほんのせいかつようしき、ぶんかなども ならいました。クラスに いろいろなくにから ひとがくるから そのひとたちの くにのことも べんきょうに になりました。ともだちもたくさんできました。

しんせつなせんせいたちのおかげで たくさんのお話を べんきょうしたんですが、これからもべんきょうするつもりです。 ウイブン ピリス スリランカ出身



あした、それ、あ、の、あ、たいへん、あ、に、ほんごの、にちじょう、かい、に、ほんごを、ぜんぜん、よめ、この、ねん、かんで、かな、なりました。に、ほんご、だけ、せいかつ、ようしき、ぶん、な、に、いろいろ、な、ひと、たちの、

姉妹都市提供を考慮して

鎌ヶ谷市国際交流協会会長

1995年度派遣リーダー 荒井 茂行

今回のK I F A派遣事業は参加者、成人11名で3月19日から3月26日の日程で、前回と同様にワカタネ市での交流を目的として実施されました。緑豊かな美しい広大な自然と、飾らない大らかな心を持った人々に接し、大いに学ぶべき点がありました。

今回はワカタネ市でニュージーランド姉妹都市委員会の国際会議が開催されるにあたり、K I F Aの他にも行政、鎌ヶ谷青年会議所からの参加があり、ワカタネ市では行動を共にしました。K I F Aのメンバーはホームステイをしながら会議の開催に合わせて出席者に、琴の演奏と茶道のお点前の披露等、日本文化の紹介をしながら交流をしてみました。

さて、昨年9月18日鎌ヶ谷市とワカタネ市との間で姉妹都市の仮調印がなされたことをご存知のことと思います。いよいよ姉妹都市提携が実現的なものとなりました。今後は官民が一体になりそれぞれ立場で何をすべきかを検討してゆくことが重要であると思います。

ワカタネ・ホームステイ・ニュージーランド

松原みき子

ステイ先のシャーリーの家の窓からは、映画のシーンのような池と木々が写しだされ庭には手入れされた花々が咲いていました。毎日遅い帰宅になりましたが、彼女の家に戻った時、自分の家に戻ったような安心感がありました。いつも何をしたいか私達に最初に聞き、それに応えようとしてくれる彼女のやさしさを感じました。

シャーリーの隣人のたくましいおばさまたち。ネコのブス。そしてワカタネの町を案内してくれたジュディ。みんな時間と気持ちの豊かさをありがとう。もっとゆっくりしたかったシャーリーの家、町でした。



太田尻さん

派遣者帰

Report of the delegation



荒井会長

乙葉氏

石関氏

「ワカタネへ ふたたび」

岡本 靖子

なつかしい思い出 ロトルアからワカタネへ入りました。コンベンション大会で、日本文化の一端を紹介する為に参加したのですが、何はともあれ、喜んでいただいた様です。文化の違いからか、いくつかの手違いもありましたが、これからの派遣事業を考えていく上で、良い材料になったのではと思います。ワカタネで市の花「ききょう」が見事に花をつけ、子供達が「きりり鎌ヶ谷」を見事な日本語で歌うのを見て、確実に交流の芽が育っているのを感じました。



ワカ



松原さん

海外研修を終

私は1番最初の専
歳以上であるとい
でも今はそうしなく
より20歳以上も上
うが多かった。
だかかわいらしか
胸がある…。すご
で、吸収できるも
えたことはこの研

イベントに参加して

太田尻はる子

市長主催のパーティーが琴演奏の本番。司会者から、ジャパニーズハーブと紹介され「飛躍」と「さくら」を演奏。最後にN. Z. 国歌を弾き始めた時、思いがけず全員（300人位）が歌い始め感無量。

伝統文化、芸術音楽は、その国の歴史、その国のすばらしさをそれぞれ教えてくれるはず。これは政治経済の交流では果たし得ないこと。そういう意味では、今回の国際交流は、民間外交として、本当の交流を一生懸命果たした様に思います。



中島

国報

visiting New Zealand

ラブライ・ワカタネ

乙葉 昭

目に染みる空の青さ、澄んだ海、緑一面の野や小高い丘、高く聳える山々、さんさんと照り輝く太陽、どこを見ても羊の群れ、牛の群れ……。これが私が見たニュージーランドの印象である。そしてこれらの素晴らしい環境に住み育った人々の大らかな心とやさしさ、原住民とのバランスのとれた社会等、私にとっては吸い込まれていく様な魅力を持ったニュージーランドを心の中に深く刻み込まれた旅であった。

姉妹都市大会への参加とホームステイでは、人生におけるすばらしい勉強と思い出を得られたことに感謝。

初めてのニュージーランドの旅 石関 博康

昨年、KIFAの紹介でN. Z. の教師テレサ女史とジューン女史を受け入れたこともあり、今回派遣団に加わった。仕事上の出張では世界各地を訪ねたが、今回は初めての地、初めての私的な旅で印象深いものとなった。

ワカタネ市でホームステイしたピーター、ジョニー夫妻の3日間の生活は300坪の庭と海岸を見下ろす広い住宅、清潔な部屋、そしてピーター氏の機知に富んだジョークで楽しいものだった。旧知のジューン宅に伺い、くつろいだ気分です昼食をとり、ワカタネ・ローン・テニスクラブでテニスを楽しんだ。いつか再会したいと思う。



木元市長と岡本さん

えて

半塚 具子

前研修に行った時、私以外の皆が40歳で、やめようかしらとも考えた。でも良かったと思う。みんな年は、私より年上だけれど、却って私より若いと思える色々なことに興味を持っていて、何となく、ユーモアに溢れていたり、度を超えて年を重ねている人たちがばかりで、沢山あった。11人の皆さんに出会えたのは大きな収穫でした。



半塚さん

N. Z. の交流の旅人

中島 澄子

最初に降り立ったクライストチャーチで泊まったロジは、街の中を流れるエイボン川のほとり。多忙スケジュール前の大切な休日となった。

N. Z. 姉妹都市大会に参加ということでワカタネ市の2日間は家に帰るだけの状態だったことが「ちょっと、忙し過ぎたな」という感で一杯。ステイ先のジムとキャサリン夫妻とは最初の21日の夜の夕食時が唯一の会話をしている時間であったことが残念である。裏返せば「充実した日々のワカタネ市の滞在だったと思えば良い」と自分に言い聞かせている。



ワカタネ市長と関さん

ワカタネでのお茶席とホームステイ

関 キヨ

N. Z. という国は一度は行ってみたいと思っていました。ワカタネ市で姉妹都市大会が開催され文化交流のお手伝いとしてお茶席を務めさせていただきました。

又念願かないホームステイを経験することが出来ました。ステイ先のマールさんは日本語でゆっくり話しますと解っていたので安心して親しみを感じました。

出発の日マールさんの家の前の海岸へ出かけました。なんと雄大で清々しい朝だったでしょう。この光景は一生忘れられないひとコマです。出来ることなら一日中海岸を歩いてみたかった。



松岡さん

ワカタネでミサを

松岡 明子

私達はこの素晴らしい機会に恵まれ、文化、習慣、言葉が違っていても何とか肌で感じ、理解することができたと思います。

ワカタネ市イベント休憩時間にホストファミリー夫人の案内で教会へ。マオリ族の神父様とお会いすることができ、握手と笑顔で迎えられ、ミサに誘っていただく。四旬節にワカタネ市教会でミサに恵まれるとは思っていませんでしたので、とても喜ばしく、マオリ語で世界平和と人の愛を祈るミサの声は心の底まで届き、この感動と喜びはいつまでも忘れることは出来ない。

My Country, Malaysia

Samantha Ayre



My name is Samantha, I come from Malaysia and I have lived in Kamagaya with my husband for almost two years.

Malaysia is made up of thirteen states each of which has a Sultan, and once every five years a new King is appointed from one of these thirteen Sultans. This means that we have a new King every five years. Malaysia is a tropical country which is very rich in natural resources such as rubber, oil, gas, and many different types of fruit and vegetables. The most famous fruit is the Durian - a very strong smelling fruit which is called the 'King of Fruits'. The 'Queen of Fruits' is the Mangosteen a fruit which balances the pungent Flavour of the Durian.

My home town, Seremban, is about one hour drive south of the Malaysian capital, Kuala Lumpur, and was an important town when rubber was the main export commodity. Although rubber is rapidly being replaced by palm oil and some high tech items such as computer chips, the town is continuing to prosper.

The population of Malaysia is made up principally of Malays, Chinese and Indians, each of whom make a significant contribution to the Malaysian culture. In general the different races get along very well together, and as a result of this ethnic mix, we have a wide variety of food on offer. For instance, at breakfast you can eat either Nasi Lemak - a traditional Malay breakfast of coconut rice, sambal fish and peanuts, Dim Sum - a Chinese dumpling which may take many forms and contain many different types of meat, or Roti Canai - an Indian bread served with curry. Both the Malay and Indian food have one thing in common, they are spicy, and one thing all have in common, they are all good to eat. So if you get the chance to visit Malaysia, make sure you try the food.

私の国、マレーシア

サマンサ・エアー

私の名前はサマンサ。マレーシア出身で、夫と共に鎌ヶ谷に住むようになって2年程経ちます。

マレーシアは13の州から成り、その州に一人づつソルタンと呼ばれる人達がいます。そして、5年ごとにそれら13人のソルタンの中から新しい国王が選ばれます。私たちは5年ごとに新しい国王を持つというわけです。

熱帯の国であるマレーシアは、ゴム、材木、スズ、石油、ガス等の天然資源に恵まれており、様々なフルーツや野菜も豊富にとれます。最も有名なフルーツはとても香りの強いドリアンで、「フルーツの王様」と呼ばれています。「フルーツの女王」と言われているのは、マンゴスチンです。こちらは、ドリアンのような刺激の強い香りはなく、風味豊かなフルーツです。

私のふるさと、セランバンはマレーシアの首都であるクアラルンプールから車で1時間ほど南に下ったところにあり、ゴムが主な輸出品だった頃は重要な町でした。



現在では、パーム油やコンピューターチップが、ゴムに代わる輸出品になっていますが、町は今でも繁栄しています。

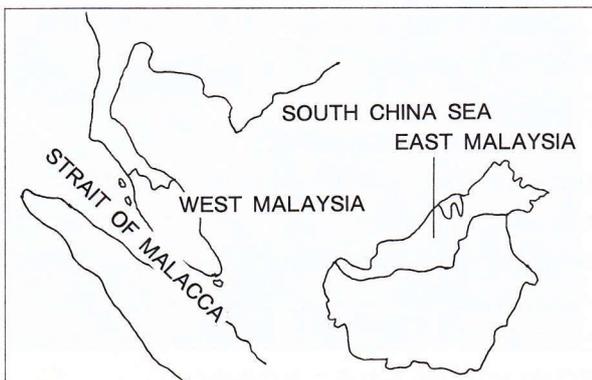
マレーシアの国民は、おもにマレー人、中国人、インド人で、それぞれの文化が混ざり合っただけでマレーシア独特の文化を作っています。民族相互間はとてもうまくいっており、その結果、私達はいろいろな料理を楽しむことができます。たとえば、朝食だけでもこんなに沢山の中から選べるんですよ。

ナシ レマク ……マレー人の伝統的な朝食である
ココナッツライス、
サンバル (ソース)、
小魚とピーナッツ

ディム ナム ……いろいろな種類の肉で作った中国のおだんご料理

ロティ チャナイ…インド人のカレーをかけて食べるパン

マレー人とインド人の食べ物には共通点があります。それはとてもスパイシーだということです。そして何よりどちらもとてもおいしいということです。もし、あなたがマレーシアを訪れる機会があったら、是非これらのお料理を食べてみて下さいね！ (訳 広報部会)



姉妹都市大会に参加して

道野辺中央在住
交流部会員 佐藤 キク

正式の派遣メンバーでない私が、この大会に参加することが出来て、本当にラッキーだったと感謝しております。ニュージーランドが好きな私は、ワカタネから車で1時間ちょっとのムルバラという村に1月からステイしておりましたので、鎌ヶ谷市民としては是非お手伝いをと、考え、ロトルア到着から合流させていただきました。

皆様もご存じのように、ワカタネは海辺のしゃれた町です。私はパット先生のお家に泊めて戴きましたが（昨年の交流で私の家にステイした）、彼女の家の前庭が海と言う感じで、それはそれは素晴らしい眺めでした。彼女との旧交をあたため今回の大会について語り合いました。

大会準備、開催はニュージーランド方式、費用は大会参加費で賄い、運営などはボランティア活動が主体と実にシンプルです。そして、大会は成功したと、新聞にも大きく報道されました。

ニュージーランドは世界の123都市と姉妹、友好関係を結んでいます。オーストラリア38、日本28、アメリカ27、中国10 その他（1995年現在の数）。

しかし、今大会はワカタネ市が当番ということで、鎌ヶ谷市が日本代表としての役目を果たしました。誇張し



た言い方をするなら、新聞記事・レセプションすべて鎌ヶ谷でした。特に夕食会での派遣者全員による「ムツゴロウどん踊り」の軽妙なしぐさ、楽しさは、満場の喝采を浴びました。「日本人って、案外気取りがなくて愉快なんだなあ」と、出席者全員が感じてくれたと思います。

お互い、生まれも文化も異なる者同志が理解を深める為には、普段着での付き合い、交際が大事なんだと改めて思いました。

今後、一人でも多くの方が気軽に交流に関わり、結果ではなく、その過程の中で得るさまざまな体験を大事にしていったら、私達にとって有意義なものとなると確信します。

投稿規定：25文字×30行以内。題名、住所、年令（学年）を明記の上、
鎌ヶ谷市国際交流協会事務局（市役所3階企画課）まで。
記載されたものには、粗品をお送り致します。

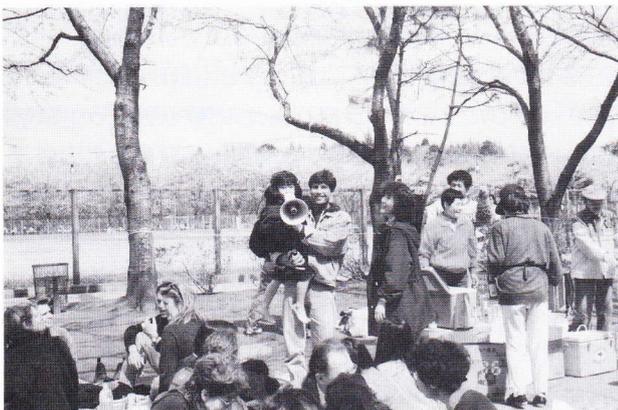


The HANAMI PARTY took place at SHISEI KOEN on April 7th. Fortunately the weather forecast was wrong, instead of rain, there was even occasional sunshine coming out. 23 foreigners and 52 Japanese including children enjoyed songs, dancing and ball games. Everybody had much fun and hope to meet again at the next year's CHERRY BLOSSOM VIEWING PARTY.

お花見大会

4月7日（日）11時から15時迄の4時間KIFAの春のイベント お花見大会が昨年に続き市制公園に於いて開催されました。

当日の天気予報は小雨との事でしたが、幸いに花曇り空、雨も降らず時折晴れ間ものぞき、寒からず熱からずの絶好の花見日和りでした。桜も八分咲と見頃で美しく当日の参加は外国人23人、日本人52人（子供含む）と大変盛会で、歌、ダンス、ボール遊びにビンゴゲームと盛り上がり、大いに友好の輪を広げる事が出来ました。来年も又更に多くの方々と楽しい集いを持ちたいものと願って居ります。
(交流部会)





KIFA's Language Class Closing Ceremony .

語学講座閉講式

95年度語学講座閉講式は、2月25日(日)総合福祉保健センターで開催されました。式典後、姉妹によるお琴とフルートデュエット「花手鞠」の美しい旋律に、しばしうっとり。各講師を囲んでのティーパーティーでは、クラス毎に習った言葉で「小さな世界」の合唱で1年間の努力の成果を披露しました。

語学講座 合同開講式

薫風5月11日、96年度の語学講座が合同開講式を皮切りにスタートした。

例年通りどのクラスも好評で英語3クラスと中国語で受講が抽選となった他スペイン語が開講された。

三橋記念館の地下ホールで行われた開講式では荒井協会長・村田研修部会長の挨拶に続き各講師から受講生へのメッセージがあった。各国語混じりの話しは内容豊かで講座に対する熱意が感じられた。開講式後一般の入場者も加わり映画会が行われた。KIFAにとって映画会は初めての試みだが、約230名の参加者の感動を呼んだようだ。「地球交響曲」というこの映画は現代の常識を越えたことを成し遂げたり体験した世界の6名の人々のオムニバス形式で、地球の未来にとって極めて示唆的な映画であるが、さり気なく淡々と語られているところが返って感動を大きくしたと思われる。(研修部会)

KAMAGAYA'S SUMMER FESTIVAL will be held this year again at KAIGARAYAMA Park on August 24th. In case of rain, it will be held the next day, August 25th. Be sure to keep in mind this important date and please, come and join KIFA'S booth. Food, beverage and a lot of surprises await you. The booth will be open from 11 a.m. to 7 p.m. See you there!

市民夏まつりが、8月24日(土)貝柄山公園で行われます。KIFAではまた例年通り「市民夏まつり」に、ブースを出すことになりました。ブースでは鎌ヶ谷市に住む外国人の方々と市民の懇親を目的として、ささやかですが交流の場を用意いたします。奮って多くの方の交流、参加をお待ちしています。

通訳ボランティア研修会

"NOと言い出しにくい日本人のために"

3月17日午後1時より中央公民館に於いて、神田外語大学教授、キブソン松井佳子先生をお迎えして講義をしていただきました。

異文化で育った人間同士、歩み寄りではできても本当の意味での接点を持っていないのでは…?と感ずることもある。しかし、相手の持っている考え方を理解してゆく努力が大切。自分のものさしで他の国の人を計ってはいけない等等。異文化間のコミュニケーションにおける問題点をご自身の体験を交えてお話下さいました。

又、大学教授らしく、概念としての文学についてや、西洋文学の翻訳についてのお話しもあり、大変有意義な研修会でした。



"国際交流ミニコミ紙誌フォーラム"

港区国際交流協会、港ユネスコ協会、いっくら国際文化交流会共催、「国際交流ミニコミ紙誌フォーラム」が6月6~7日、港区立赤坂区民センターで行われました。北海道から九州までの約70団体、120名が参加。

KIFA Plaza 25、26号も展示会に参加、出展されました。元アエラ発行室長の西村秀俊氏の基調講演、パネルディスカッション、実務担当研修分科会等で、交流、研修が行われました。

編集後記

ミレーユさんが入って下さり、語学の苦手な私も、耳だけはダンボにして頑張っております。広報部会員は、現在6名と少人数で活躍中、それだけに自分の作った紙面が出来上がると自画自賛しております。(K. Y)